

理科甲類

(九十三人)

東工	伊東健二 (愛知)	東醫	永田鐵二 (愛知)	工	杉浦章司 (愛知)
理	入谷幸平 (愛知)	東工	安藤修二 (愛知)	理	矢橋徳太郎 (岐阜)
理	黒谷壽雄 (愛知)	京醫	藤原博雄 (愛知)	東醫	吉村義之 (岐阜)
東醫	藤井良知 (山口)	工	浅野庄一 (愛知)	工	稻熊謙一 (愛知)
工	川村文雄 (三重)	名醫	加藤猛夫 (愛知)	東醫	下野忠夫 (岐阜)
東工	山川尙典 (愛知)	工	村上永一 (東京)	京工	市岡謙介 (岐阜)
工	石河正利 (愛知)	東工	岡本孝平 (愛知)	名醫	川島良夫 (和歌山)
工	長南陽太郎 (宮城)	東醫(藥)	高取吉太郎 (愛知)	農	天野景信 (愛知)
東工	淺野紀男 (愛知)	工	丹羽忠愛 (愛知)	東醫	勝沼晴雄 (静岡)
東工	加藤又彦 (愛知)	名醫	篠田功 (愛知)	東工	柳田清一 (愛知)
東農	中島俊男 (三重)	東工	三根隆雄 (福岡)	京醫	笹瀬博次 (愛知)
理	大八木義彦 (愛知)	東工	大西達朗 (香川)	農	恒川眞清 (愛知)
工	鈴木清二 (愛知)	文	近藤修吾 (岐阜)	東北工	中村中六 (愛知)
					永田重雄 (静岡)

九工	池永雅人 (東京)	京工	林二郎 (愛知)	農	飯島芳正 (神奈川)
理	三輪英夫 (岐阜)	農	百合山智通 (静岡)	東工	瀨戸郁夫 (神奈川)
京醫	森英男 (愛知)	東農	淺川末三 (長野)	東工	濱田喜三 (宮城)
工	坂野壽 (愛知)	京工	國府忠 (三重)	名醫	久田四郎 (愛知)
名醫	曾我立巳 (愛知)	東北工	山根敏夫 (島根)	名醫	松本利貞 (京都)
工	長江章式 (岐阜)	工	大川知夫 (三重)	東北理	伊藤義壽 (三重)
名醫	原義典 (三重)	理	加藤孝 (愛知)	東工	齋藤一男 (東京)
農	佐藤孝夫 (福島)	東工	川北宗平 (東京)	名醫	松井征夫 (愛知)
東工	久田晴明 (愛知)	東工	小西利明 (三重)	名醫	新井内次 (長野)
理	宮田昇 (愛知)	農	坂本啓吾 (三重)	農	堀井麻 (京都)
東工	朝倉行一 (東京)	名醫	三宅健三 (愛知)	農	山縣康佐 (山口)
東醫	齋藤守 (宮城)	工	寛橋 (三重)	工	山比萬二郎 (高知)
東工	澤井春三 (愛知)	京工	長崎誠治 (富山)	名醫	清水一男 (長野)
東農	西村修一 (三重)	東工	西川利治 (山口)	東醫(藥)	山木克巳 (三重)

名醫	小林敏夫(愛知)	東工	伊地知堅一(鹿島)	名醫	今井福一(和歌山)
九農	河野修道(福井)	京農	小坂讓(愛知)	名醫	周提仁(臺灣)
理科乙類	水谷裕二(三重)	(三十人)			
工	日比野省(岐阜)	京醫	岩田節夫(愛知)	東醫	本間武人(新潟)
工	鈴木正吾(岐阜)	東工	鷺尾禎一(愛知)	東醫	加藤義憲(愛知)
東醫	村上守(岐阜)	名醫	石原敏夫(愛知)	名醫	日比野清(愛知)
理	屋代雄三(山形)	京醫	片岡司馬男(愛知)	名醫	高橋左近(静岡)
東醫	馬淵正樹(岐阜)	名醫	服部日出男(愛知)	名醫	村井善夫(愛知)
京醫	前野武司(三重)	名醫	眞野幸雄(岡山)	東農	山本豊(愛知)
名醫	佐久間秀夫(岐阜)	名醫	木村信德(愛知)	東農	安藤眞(神奈川)
名醫	野村嘉邦(愛知)	名醫	伊藤豊成(愛知)	東醫	川村一次(長野)
名醫	前川博男(岐阜)	工	奥村敏惠(愛知)	東醫	野々部定祐(東京)
		名醫	都築勇夫(愛知)	名醫	清水英一(三重)

第二十七回 昭和十二年三月卒業 (百九十四人) (成績順分界點※ノ間ハ同成績五十音順)

東農	星野一雄(愛知)	京經	大野文男(愛知)	京經	吉川謹爾(大阪)
文科甲類	羽柴忠雄(愛知)	東經	巖谷篤信(愛知)	東法	川島利雄(愛知)
東法	野上裕一(神奈川)	東經	岡田太郎(三重)	京文	佐多博(鹿島)
東法	大竹進(愛知)	東法	小林敦夫(京都)	東經	田島穰(愛知)
東經	瀧隆朗(愛知)	東北法文	廣瀬義男(岐阜)	東法	加藤憲(愛知)
東經	村瀬利直(愛知)	東經	板倉俊雄(静岡)	東法	加藤憲(愛知)
東法	河合信雄(愛知)	東法	龜山信郎(静岡)	京法	浦部龍三(山口)
東法	川澄君之介(愛知)	東法	松岡三郎(廣島)	東文	後藤政哉(岐阜)
東法	島村健一(三重)	東法	柴田孝之(三重)	京經	後藤孝敏(岐阜)
京經	丹羽俊一(大阪)	東文	高橋軍太(岐阜)	京法	相京昌信(愛知)
東經	生田俊一(愛知)	東法	森寛(岐阜)		

京農	松田晴男(長野)	東文	山根常男(島根)	京經	鹽見博(京都)
東文	小林勇(北道)	京文	井戸威比古(岐阜)	京文	久野辰男(愛知)
京經	後藤肇(愛知)	東法	奥繁夫(岐阜)	京法	三原恭平(宮城)
京法	角田幸衛(愛知)	神戶商	長畑裕三(静岡)	東文	谷本敏雄(三重)
東經	野田昌幸(愛知)	東文	宮脇長定(香川)	京經	谷本敏雄(三重)
東經	本田善健(愛知)	東文	原田章之進(愛知)	京經	佐々克二(愛知)
東經	山田玖夫(愛知)	東法	日比野安(愛知)	東北法文	古川嘉一(愛知)
京法	那須正三(山形)	東法	丸山源八(和歌山)	東法	天野四郎(愛知)
京法	中村忠世(和歌山)	東文	成瀬辨皓(愛知)	東法	松浦正隆(愛知)
東法	近藤武夫(岐阜)	東文	太田穰(和歌山)	東法	丸地茂(愛知)
東法	川喜田友哉(三重)	東文	成瀬辨皓(愛知)	東法	丸地茂(愛知)
東法	上松陽助(岐阜)	東法	加藤宗三(愛知)	東法	丸地茂(愛知)
東法	後藤熙(愛知)	東法	加藤勇七(愛知)	東法	丸地茂(愛知)
東法	村瀬信一(愛知)	東法	吉田立和(愛知)	東法	丸地茂(愛知)

文科乙類

(二十九人)

東經	坂本勳(静岡)	東法	小山順(愛知)	京法	眞崎脩一(長崎)
東經	吉井泰夫(徳島)	東文	高原基(岡山)	東文	三宅長男(岐阜)
東文	栗木知正(愛知)	東北法文	石川留巳之(愛知)	東文	梶浦一之(静岡)
東法	高井清(三重)	京經	宇井一馬(三重)	東文	日下部文夫(愛知)
神戶商	松田榮一(愛知)	東工	榎田恭三(和歌山)	東工	舌津直治良(三重)
東工	岡村總吾(三重)	東工	神山重夫(岩手)	東工	園田豊厚(長崎)
東工	鈴木溥(愛知)	東工	澤繁樹(岐阜)	東工	玉川敏夫(愛知)
東工	野口勇二(東京)	東工	千藤猛(岐阜)	東工	前田稔(三重)
東工	藤波恒雄(山梨)	東工	橋本次郎(愛知)	東工	宮坂春夫(長野)
東理	小栗寛司(愛知)	東工	武藤行男(愛媛)	東理(藥)	内藤三郎(愛知)
名醫	高島常二(愛知)	東工	川端清之(愛知)	東理	本多良助(愛知)
		東工	田中鐵郎(三重)	東理	紅村正(愛知)
		東工	田中鐵郎(三重)	東工	田所良男(三重)

理科甲類

(八十六人)

名醫 清水龍太郎(岐阜) ※ 中村正清(滋賀) ※ 岡山醫 土井正一(岡山)

第二十八回 昭和十三年三月卒業 (百八十名)

(成績順分界點※ノ間ハ同成績五十音順)

文科甲類 (五十六人)

東法	山田泰造(愛知)	東法	藤森晶(滋賀)	東法	樋口皓(三重)
東經	横井恒一(愛知)	東經	矢橋重雄(岐阜)	東法	龍華敏丸(愛知)
東法	津田章(愛知)	東經	※	東法	龍華敏丸(愛知)
東法	小林誠一(三重)	東法	平手博(愛知)	東法	村瀨康吉(愛知)
東北法文	宮本孝志(和歌山)	東北法文	小出増男(愛知)	東法	今井勇(愛知)
東法	馬場信之(愛知)	東法	山村治郎(愛知)	東法	館一道(岐阜)
東經	藤塚知義(宮城)	東法	佐野方治(愛知)	東法	※
東法	加藤直壽(愛知)	東法	長谷部教研(愛知)	東法	木元重信(奈良)
京經	加藤三夫(愛知)	東法	勅使河原正清(愛知)	東法	※
東經	中西季雄(三重)	東文	河野清(岐阜)	東法	大島一郎(東京)
東法	熊崎正夫(岐阜)	京經	竹谷通雄(愛知)	東法	今井英男(岐阜)
				東法	今井衷(大分)

東北法文	森幹郎(愛知)	京經	猪飼弘(愛知)	東北法文	徳永實(愛知)
神戸商	渡邊嘉一(岐阜)	東經	西脇國雄(岐阜)	京文	鄭發育(臺灣)
東法	宮本一期(福岡)	京法	濱田稔一(三重)	京經	龜井太郎(愛知)
東經	川村孝雄(三重)	京經	小篠啓三(愛知)	東經	今田卓爾(静岡)
東經	※	京經	※	京經	今井貞克(京都)
神戸商	廣瀨直三(愛知)	京經	片桐盛典(岐阜)	京法	今井貞克(京都)
東文	清水孝之(愛知)	金澤醫	小原茂(愛知)	京法	上原達郎(長野)
東經	笠原昌武(長野)	東北法文	小森晶(三重)	京法	※
九法文	中村千吉郎(静岡)	京經	織田照(福井)	京法	中山善二郎(滋賀)
文科乙類 (二十五人)					
東文	柴田武(愛知)	東經	黒川晃(愛知)	東法	坂間實(神奈川)
東法	渡邊五六(愛知)	東法	井元啓太(愛知)	東文	足立一雄(愛知)
京文	岩田豊生(三重)	東經	鼓肇雄(廣島)	東文	江口英一(愛知)
		東文	前田能長(三重)	京經	※
		東文	前田能長(三重)	京經	篠田正武(愛知)
		東文	前田能長(三重)	東文	大橋精夫(静岡)

東工	川村 重雄 (愛知)	東工	山田 勝利 (熊本)	東工	岩永 清 (三重)
東工	角 豊三 (愛知)	東農	松田 龍夫 (廣島)	九工	中川 昌信 (愛知)
京工	永井 正美 (愛知)	東工	後藤 壽雄 (愛知)	東工	村橋 秀雄 (東京)
名醫	富岡 強 (愛知)	東工	矢野 忠雄 (高知)	東工	中野 房之助 (大分)
東醫	陳 榮 (臺灣)	京工	六田 猶敏 (三重)	阪醫	小山 哲郎 (愛知)
阪工	鈴木 春夫 (静岡)	京工	長畑 堅志 (群馬)	名醫	加賀谷 廉 (愛知)
名醫	青山 平吉 (愛知)	東北醫	河合 孝一 (愛知)	名醫	淺井 光敏 (愛知)
東工	細野 國男 (岐阜)	東農	西村 瑞男 (秋田)	北海理	根岸 榮次 (千葉)
東理	今井 輝夫 (兵庫)	阪理	森田 右 (三重)	東醫	壹岐 武彦 (東京)
京農	中尾 佐助 (愛知)	東工	日吉 三友 (愛知)	名醫	上田 郁郎 (愛知)
東北理	宮永 初太郎 (神奈川)	東農	村上 和三郎 (兵庫)	阪工	北浦 幸一 (大阪)
東工	島田 正雄 (愛知)	東農	久野 昌一 (愛知)	東醫	福島 謙行 (愛媛)
東工	塚本 富士夫 (愛知)	名醫	小寺 辰雄 (岐阜)	名醫	半田 信吾 (愛知)
東農	西川 春雄 (東京)	東農	小野 辰雄 (岐阜)	京工	菊谷 繁一 (愛知)
東理	嵐 由之 (三重)	東農	小寺 辰雄 (岐阜)	阪工	水田 久雄 (愛知)

東工	宇野 稔 (愛知)	東工	芝崎 文夫 (群馬)	東工	山北 哲二 (三重)
東工	瀧 保夫 (愛知)	東工	小川 保夫 (愛知)	東工	井土 剛一 (愛知)
東工	佐治 徳三 (愛知)	東農	高橋 欣一 (愛知)	京工	大島 太一 (東京)
東理	鐸木 啓三 (愛知)	京理	服部 貞夫 (愛知)	東工	志磨 成也 (和歌山)
東工	小原 具男 (愛知)	京工	七原 仁止 (愛知)	東工	大武 信一 (東京)
東工	市川 真人 (愛知)	東理	種村 孝 (三重)	東理	可兒 茂夫 (愛知)
東工	佐々木 正久 (愛知)	東理	種村 孝 (三重)	九工	都々木 浩一 (愛知)

理科 甲類

(七十五人)

※ 京工 成田重三 (愛知)
 京文 登川尙佐 (岡山)
 京理 永田一耶 (大阪)

岡山醫 青木大吉 (愛知) ※
 京農 櫻井重歳 (東京)
 東理 水野坦 (愛知) ※

名醫 横山紀元次 (愛知) ※
 九工 日比野志期 (愛知)
 北川喜代 (愛知)
 阪醫 荒川正男 (香川)

理科乙類

(二十四人)

東醫 小酒井 望 (愛知) ※

東醫 石原壽郎 (愛知) ※

名醫 恒川和夫 (愛知)

東醫 後藤 平 (愛知) ※

名醫 鬼頭重友 (愛知) ※

京工 渡邊 豊 (茨城) ※

東醫 植松茂彌 (愛知) ※

名醫 高田文夫 (愛知) ※

東醫 松澤正久 (愛知) ※

東醫 山口時三 (愛知) ※

東北理 神谷謙 (愛知) ※

千葉醫 前田敏雄 (愛知) ※

名醫 伊藤 實 (愛知) ※

東醫 山本 泰 (和歌山) ※

京醫 桑原島雄 (静岡) ※

名醫 中村元三 (愛知) ※

名醫 中野重造 (愛知) ※

名醫 近藤 進 (愛知) ※

東醫 郡 一郎 (兵庫) ※

京醫 田中 寛 (鳥取) ※

名醫 谷本光典 (愛知) ※

第二十九回 昭和十四年三月卒業

(百七十五名)

(成績順分界點※ノ間ハ同成績五十音順)

文科甲類

(四十八人)

京法 石川瑞雄 (三重) ※

東北法文 小島幸雄 (愛知) ※

東北法文 上野隆三郎 (三重) ※

京文 井上 肇 (三重) ※

東文 坂本三郎 (愛知) ※

京經 桑原昌夫 (岐阜) ※

京文 石原信吾 (愛知) ※

東法 柴橋勸司 (三重) ※

京經 後藤俊一 (愛知) ※

東法 駒月 勇 (岐阜) ※

東法 白石國彦 (愛知) ※

東經 西村正雄 (愛知) ※

東經 中村郁郎 (愛知) ※

京經 菅原得夫 (愛知) ※

東經 栗野 鳳 (熊本) ※

東北法文 村瀬泰敏 (愛知) ※

東法 川西 清 (兵庫) ※

東經 朝野柘郎 (兵庫) ※

東法 安達健二 (愛知) ※

京經 川島康文 (岐阜) ※

九農 尾形慶久 (愛知) ※

東經 丸茂桂吾 (山梨) ※

東法 齋藤太郎 (山口) ※

東北法文 菊谷繁夫 (愛知) ※

神戸商 石田榮治 (愛知) ※

東經 高橋正藏 (愛知) ※

京法 藤本 弘 (千葉) ※

東文 杉村 靖 (愛知) ※

東法 小川 良一 (新潟) ※

金澤醫 伊藤 二郎 (長野)

東文 田中 信 (東京)

東法 木藤 孝一 (愛知)

東法 波多野 義路 (山口)

文科乙類

(二十四人)

京文 富貴原 惠照 (愛知) ※

東經 江崎 謹吾 (愛知) ※

松尾 保司 (岐阜)

竹崎 秀雄 (熊本) ※

神戶商 岡田 正 (三重) ※

水野 嘉金 (愛知)

田中 敬三 (愛知) ※

東文 寺澤 恒信 (愛知)

河野 正知 (愛知)

宮澤 辰男 (山梨)

京經 谷口 博一 (奈良)

後藤 幾久磨 (愛知)

赤堀 三郎 (岐阜)

東文 木塚 勝郎 (岐阜)

服部 克巳 (愛知)

高井 大次郎 (愛知)

東文 後藤 和夫 (愛知)

堀内 康人 (山梨)

山本 晴一 (岐阜)

東經 青木 正彦 (東京)

藤田 洋三 (滋賀)

理科甲類

(七十八人)

東工 柴田 和雄 (山口) ※

東農 伊藤 明夫 (岐阜)

大久保 隆彦 (三重)

東理 荒川 泰二 (愛知) ※

東工 永田 公一 (愛知)

杉浦 隆一 (愛知)

酒井 健一 (愛知) ※

東理 蜂須賀 榮治 (愛知)

原田 種裕 (愛知)

佐尾 和夫 (愛知) ※

名醫 青山 泰男 (愛知)

池永 三郎 (東京)

關山 博 (愛知) ※

京工 市川 克彦 (東京)

川島 輝彦 (東京)

山内 利夫 (三重) ※

東農 魚住 弘道 (兵庫)

野村 林三 (岐阜)

伊藤 正策 (静岡)

阪理 浮田 一郎 (東京)

増田 英芳 (千葉)

鈴置 善吉 (愛知) ※

東工 木村 利一 (大阪)

磯部 吉郎 (愛知)

淺井 紀明 (愛知) ※

東北工 川崎 舍定男 (香川)

岩間 和夫 (愛知)

福井 富久 (愛知) ※

京理 鈴木 康一 (神奈)

木村 勝榮 (愛知)

和田 次郎 (静岡) ※

京理 早川 久雄 (愛知)

黒澤 正文 (愛知)

理 科 乙 類 (二十五人)	桑原章吾(愛知)	東北工 本郷泰三(岡山)	東工 島村彌太雄(高知)	東工 内田正司(岐阜)	吉原一雄(大分)	川口吉正(東京)	加藤定雄(愛知)	田中己作(愛知)	山口巖(宮城)	高木文雄(愛知)	山根一男(島根)	藤本武(奈良)	小谷直孝(京都)	大嶽壽(愛知)	京理 加藤竣平(岐阜)	東農 井阪芳男(三重)	京工 太田康次(愛知)	名醫 岡田美之(愛知)	名醫 坂野登(愛知)	京工 今野勇策(宮城)	名醫 鈴木博(愛知)	京農 福田照(茨城)	阪理 織田賢一(愛知)	豊田幸吉郎(愛知)	小柳勝(東京)	東醫 八木一二(愛知)
----------------------------	----------	--------------	--------------	-------------	----------	----------	----------	----------	---------	----------	----------	---------	----------	---------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	------------	------------	-------------	-----------	---------	-------------

名醫 近藤勝彦(愛知)	東醫 村尾誠(静岡)	名醫 吉田昌敏(愛知)	名醫 林德雄(岐阜)	名醫 宮崎武雄(岐阜)	島崎岳周(石川)	川村泰久(三重)	名醫 星野晃(愛知)	京醫 山城慶郎(三重)	東農 江崎公郎(愛知)	名醫 澤裕生(岐阜)	京醫 田中和彦(愛知)	東醫 深津要(愛知)	名醫 水野知吉(愛知)	東北醫 牛尾暉夫(東京)	東工 富田昌治(愛知)	京醫 鳥居良彦(愛知)	東理 藤田義明(兵庫)	松尾敬二(岩手)	東醫 下村孟(東京)	中村正己(千葉)	北川德明(茨城)
-------------	------------	-------------	------------	-------------	----------	----------	------------	-------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------	--------------	-------------	-------------	-------------	----------	------------	----------	----------

二、卒業者進入大學別人員

入學年度	大學	學科	醫	藥	工	文	理	農	經	法文	商	計
九七四	東京帝國大學	法	三六七	六	八〇三	三三七	二六四	三六六	三九五			三、六四一
三四五	京都帝國大學	法	三三七		三三三	二二三	一〇三	六二	一八四			一、四三四
	東北帝國大學	法	三		三	三				二二		二六七

卒業者新入大學別人員

明治四十四年三月至昭和三年三月

九州帝國大學	北海道帝國大學	大阪帝國大學	京城帝國大學	臺北帝國大學	千葉醫科大學	金澤醫科大學	岡山醫科大學	新潟醫科大學	長崎醫科大學	熊本醫科大學	名古屋醫科大學	東京工業大學	神戸商業大學	廣島文理科大學
110	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135
136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150
151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165
166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180
181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195
196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210
211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225
226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240
241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255
256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270
271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285
286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300

昭和十四年度

公立醫科大學	私立醫科大學	東京帝國大學	京都帝國大學	東北帝國大學	九州帝國大學	北海道帝國大學	大阪帝國大學	金澤醫科大學	岡山醫科大學	名古屋醫科大學	神戸商業大學	計
28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53
54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66
67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92
93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105
106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118
119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131
132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144
145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157
158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170
171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183
184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196
197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209
210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222
223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235
236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248
249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261
262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274
275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287
288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300

備考

一、昭和十四年大學入學者中昭和十三年以前ノ卒業生八十三人（内一旦大學ニ入學セル者ニシテ志望變更ノ爲退學シ本年更ニ入學セシ者十一人）アリ
 二、大學不入學者、本年卒業生四十七人前年以前ノ卒業生二十人計六十七人アリ

三、創立以來卒業生出身地方別

地方別	人員	地方別	人員	地方別	人員	地方別	人員
愛知	二、二二二	滋賀	八三	香川	四六	長崎	一八
三重	五三〇	京都	七六	島根	四一	熊本	一八
岐阜	五二四	埼玉	七五	徳島	三七	鹿兒島	一七
東京	四六五	山口	七三	大分	三三	富山	一六
静岡	二六一	千葉	七一	愛媛	三一	宮城	一五
兵庫	二〇七	奈良	六三	福島	二九	臺灣	一五
長野	一八七	高知	六二	北海道	二七	青森	一五
大阪	一四四	群馬	六〇	山形	二六	朝鮮	一四
神奈川	一一三	茨城	五五	鳥取	二六	沖繩	一三

第十三 土地建物 (昭和十四年三月末日) (圖面卷末添付)

土地ノ部

和歌山	廣島	山梨	新潟	栃木	石川	宮崎
一〇八	八八	八七	八三	四九	二四	三
栃木	福岡	岡山	茨城	岩手	中華民國	一〇〇
四九	四八	四八	四七	二四	滿洲國	一〇〇
石川	秋田	佐賀	佐賀	二二	合計	六、三三五
二四	二二	一八	一八	二二		七

建物ノ部

區別	所在地	坪數	備考
學校敷地	名古屋市昭和區瑞穂町	二〇、〇一一二八〇	外ニ樹木 二二〇本
生徒主事官舎敷地	名古屋市昭和區高田町	一四八二七〇	
備外國人教師官舎敷地	名古屋市昭和區中山町	三四七〇〇〇	
合計		二〇、五〇六四五〇	

土地建物

一〇〇七

奉安	所用別	構造種別	建坪
庫	木造平家建		一〇〇〇

特別藥品庫	倉庫	發電所	銃器庫	同	書庫	講堂	事務室及教室	生徒控所	鑛物地質教室	圖書教室	硫化水素室	化學及動植物教室	物理實驗室	物理教室
鐵筋混凝土造平家建	同	同	木造平家建	鐵筋混凝土造二階建	煉瓦造三階建	同二階建	木造平二階建	同	同	木造平家建	鐵筋混凝土造平家建	木造平家建	鐵筋混凝土造平家建	木造平家建
五〇〇〇	四〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇〇	一〇二九一	二〇〇〇	一七一四六	一〇三五〇〇〇〇	八六五〇〇	四五〇〇〇	七六五〇〇	一〇〇〇〇	三九一八四〇	四〇〇〇〇	二〇一〇〇〇

學寮	同	同	食堂及浴室	劍道道場	柔道道場	弓道道場	小使室	表門衛所	供待所	物置	裏門衛所	集會所	便所	渡廊下
木造二階建	同	同	木造平家建	同	同	同	同	同	同	同	同	木造平二階建	同	同
一九八〇〇〇	七八五〇〇	二〇〇〇〇	二二八〇〇〇	六〇〇〇〇	八一〇〇〇	二二〇〇〇	二五〇〇〇	六五〇〇〇	二四〇〇〇	四一五〇〇	六六七八	六六四五〇〇	四八五〇〇	一六八六四〇

土地建物

一一〇

寄宿舍附屬第一病室	同	木造平家建	一九五〇〇
第二病室	同	同	九二五〇
艇庫	同	同	七〇〇〇〇
生徒主事官舎	木造二階建	同	三〇二二〇
同 物置	木造平家建	同	一〇〇〇〇
同 備外國人教師官舎第一號	木造平家建一部二階建	同	二三五〇〇
同 第二號	同	同	二二九二〇
同 附屬物置	木造平家建	同	九〇〇〇
計			三〇八三五一一

第十四 教科書目 (卷末添付)

附 録

一、第三十一年度概況

(自昭和十三年四月至昭和十四年三月)

入學志願者入學者

昭和十四年三月選抜試験ノ結果入學ヲ決定シタル各科人員左ノ如シ

科 別	入學志願者	類 別		入學許可者		計
		甲	乙	第一志望	第二志望	
文 科	五七〇	甲	乙	七一	二	七三
理 科	八八一	甲	乙	一〇三	一	一一五
計	一、四五二			二四九	一四	二六三

第三十一年度概況

一一一

昭和十三年學年成績概況

學年	第三學年		第二學年		第一學年		計	特待生
	文科甲類	理科甲類	文科乙類	理科乙類	文科甲類	理科甲類		
卒業進級	四八	二四	七八	二五	五七	二七	三八	
休學	二	一	二	一	一	一	二	
成績不充分	二	一	三	四	一	一	五	
計	五二	二五	八三	二九	五七	二八	九〇	三〇

昭和十三年度生徒出席狀況

學年	第一學年		第二學年		第三學年		計
	文科	理科	文科	理科	文科	理科	
出席スベキ日數	一七、五〇〇	二四、七〇〇	一七、三〇〇	二六、一六二	一五、〇七五	三三、二一一	一七、五〇〇
出席延日數	一六、五九六	二三、六三五	一六、三九九	二四、三六八	一四、〇五五	二二、〇八六	一六、五九六
缺席延日數	九一四	一、八八五	九〇五	一、七九四	一、〇一〇	一、六六五	九一四
出席スベキ日數ニ對スル出席日數百分比	九四・八	九五・六	九四・八	九三・一	九三・三	九四・三	九四・八
出席スベキ日數ニ對スル缺席日數百分比	五・二	四・四	五・二	六・九	六・八	五・七	五・二

授業時數

(自昭和十三年四月至同十四年三月) (試驗時數ヲ除ク)

學年	學級		計
	文科甲一	文科甲二	
第三十一年度概況	修國漢	二六、八五五	二六、八五五
	英語	一九七	一九七
	獨語	二二	二二
	歷史	二二	二二
	數學	二二	二二
	哲學概說	八三	八三
	法製經濟	五〇	五〇
	地理	六二	六二
	礦物地質	六二	六二
	心理學	六二	六二
	物理學	六二	六二
	物理實驗	六二	六二
	化學實驗	六二	六二
動物植物	六二	六二	
動物植物實驗	六二	六二	
自然科學	六二	六二	
圖畫	九〇	九〇	
體操	九〇	九〇	
計	八七二	八七九	一、七五二

公認下宿六ヶ所

圖書增減閱覽狀況 (卷末添付)

概要記事

昭和十三年

四月八日新入學生徒宣誓式、同九日入學式ヲ行フ
 五月九日日本文化講義(講師中川日史氏)
 五月廿二日中川區下一色町ニ新設セラレタル艇庫落成式ヲ舉行ス
 五月廿八日午前創立第三十周年記念熱田神宮參拜、午後本校職員及生徒同窓會員物故者合同慰靈祭ヲ行フ(講堂)
 五月三十日創立第三十周年記念式ヲ舉行ス
 六月九日日本文化講義(講師貴族院議員小山松吉氏)
 六月廿一日熱田神宮例祭ニ付職員生徒神宮ニ參拜ス
 七月七日支那事變一周年ニ付、官祭招魂社參拜後生徒隊野外演習ヲ實施ス
 八月二十七日ヨリ三日間集團勤勞作業ヲ實施ス(校內清掃及陸軍兵器廠ニ於

テ兵器手入)

九月八日日本文化講義(講師大藏政務次官太田正孝氏)
 九月十一日小松原校長滿洲國及中華民國視察ノ爲メ出發セララル
 九月十八日滿洲事變記念日ニ付生徒隊查閱施行後熱田神宮ニ武裝參拜ス
 十月二十五日小松原校長歸任セララル
 十一月二日全校生徒長距離競走ヲ行フ(コース桑名市―千本松原一萬米)
 十一月四日、五日生徒隊野外演習ヲ施行ス
 十一月十七日日本文化講義(貴族院議員芳澤謙吉氏)
 十二月十日佐藤講師臨時召集ヲ令セラレ〇〇隊ニ入隊

昭和十四年

一月八日陸軍始メ觀兵式ニ校旗及第一學年生徒參加ス
 二月十日陸軍少將脇坂次郎氏講演
 三月十日第二十九回卒業式ヲ行ヒ生徒百七十五名ニ卒業證書ヲ授與、在學中皆勤者九人同精勤者十九人ヲ表彰シ同窓會ヨリ贈リタル賞品ヲ成績優秀者、(文科二人)(理科一人)ニ授與ス
 三月十六日、十七日入學者選抜試驗(學科)同二十四日ヨリ二十七日迄口頭試問

二十五、二十六日身體検査ヲ行フ

本年度内ニ於ケル職員ノ異動左ノ如シ

昭和十三年六月二十九日

任名古屋高等商業學校教授

教授 增田甚治郎

同日

任名古屋高等商業學校教授

教授 河村信一

同日

依願免本官

教授 溝口好忠

同日

依願解雇

雇 酒井壽章

同日

死亡

教授 長谷川赴

同日

轉補

配屬將校 末光元廣

同日

本校服務ヲ命セラル

陸軍歩兵大佐 濱村傳兵衛

同日

講師ヲ囑託ス

文學士 增田甚治郎

同日

同

文學士 河村信一

同日

同

文學士 溝口好忠

同日

雇ヲ命ス

臨時雇 鎌田光一

同日

免兼官

教授兼生徒主事 野崎勝太郎

同日

兼任第八高等學校生徒主事

教授 近藤康信

同日

同

教授 森河敏夫

同日

講師ヲ囑託ス

文學士 佐藤一夫

昭和十四年三月廿九日

兼任地方視學官

教授兼生徒主事 森河敏夫

同日

免兼生徒主事

同 森河敏夫

同日

依願免本官

教授 佐藤金一

同日

免本官專任地方視學官

教授兼地方視學官 森河敏夫

同日

講師ヲ囑託ス

理學士 正田篤五郎

同日

依願解雇

講師 河村信一

同日

臨時校醫ヲ囑託ス

醫學士 渡邊正一

同日

依願解雇

臨時校醫 堀田禪

同日

依願解雇

雇 水野忠太郎

二 第八高等學校校友會

第一條 本會ハ第八高等學校職員生徒協同融和シテ智徳ヲ修養シ身心ヲ練磨シ善良ナル校風ヲ發揚スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ第八高等學校校友會ト稱ス

第三條 本會之員ヲ分チテ左ノ三種トス

一 通常會員 生徒

一 特別會員 職員

一 贊助會員 本校卒業生其ノ他本校ニ緣故アル者

第四條 本會ニ左ノ諸部ヲ置ク

一 辯論部

一 雜誌部

一 劍道部

一 柔道部

一 弓道部

一 野球部

一 庭球部

一 蹴球部

一 陸上競技部

一 水泳部

一 漕艇部

一 相撲部

一 山岳部

一 籠球部

一 排球部

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 校長ヲ推戴ス

本會ヲ代表總轄ス

理事 三名 特別會員中ニツキ會長之ヲ委囑ス

會長ノ命ヲ受ケ會務ヲ掌理ス

評議員 各組一名 各組通常會員互選

各組ヲ代表シ本會全體ニ關スル事件ノ協議會ニ列シ又ハ會長ノ諮詢ニ應ス

評議員ハ各部委員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

事務員 若干名 特別會員中ニツキ會長之ヲ委囑ス

會長ノ命ヲ受ケ庶務會計ヲ掌ル

第六條 部務ヲ整理スルタメ各部ニ左ノ役員ヲ置ク

部長 一名 特別會員中ニツキ會長之ヲ委囑ス

委員 若干名 部長指名

各部ニ副部長又ハ顧問若干名ヲ置キ特別會員中ニツキ會長之ヲ委囑スルコトアルヘシ

第七條 評議員及各部委員ハ其ノ任期ヲ一ケ年トシ毎年一月改選ヲ行フモノトス但シ第一年各組評議員ハ毎年五月之ヲ選定シ本文ノ改選期マテ就任スルモノトス

第八條 本會重要ノ事件ヲ處理スルタメ協議會ヲ開ク協議會ハ左ノ役員ヲ以テ組織ス

會長、理事、評議員、部長、副部長、顧問、委員、(各部、應援團並ニ集會所委員總代一名)

第九條 通常會員ハ會費一ケ年金拾貳圓トシ金六圓ツツ每學期授業料ト同時ニ納付スヘキモノトス

通常會員ハ入會金トシテ入會ノ當年第一期ニ於テ金五圓ヲ前項ノ會費ト共ニ納付スルモノトス

特別會員ハ會費トシテ相當ノ金額ヲ寄附スヘキモノトス

第十條 左ノ事項ハ協議會ノ決議ヲ經テ之ヲ定ム

一本會收入支出豫算及決算

一通常會員二十名以上ノ賛成ヲ得テ提出セラレタル事項

一本會規則ノ改正其ノ他會長ニ於テ重要ト認メタル事項

第十一條 本會ハ修學旅行其ノ他會員一同ノ負擔ニ關スル費用ヲ補助スルコトアルヘシ

第十二條 本會ノ會計ニ屬スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條 各部ノ細則ハ別ニ之ヲ規定ス

第十四條 本會ニ集會所ヲ附設シ其ノ細則ハ別ニ之ヲ規定ス

第十五條 集會所ノ事務ヲ整理スルタメ左ノ役員ヲ置ク

集會所 主幹 一名 特別會員中ニツキ會長之ヲ委囑ス

集會所 副主幹 一名 特別會員中ニツキ會長之ヲ委囑ス

集會所委員 若干名 通常會員中ニツキ主幹指名
集會所事務員 若干名 會長之ヲ委囑ス

校友會役員

會長	小松原隆二	同副部長	助教兼生徒主事補	杉山喬夫
理事	岡部次郎	水泳部長	教授	阿部芳甫
同	林守一	漕艇部長	教授兼生徒主事	近藤康信
同	南藤八郎	相撲部長	教授	近藤鉦太郎
辯論部長	江上敏	山岳部長	同	芝崎陸奥夫
雜誌部長	鼓常良	籠球部長	同	栗田稔
劍道部長	小室由三	同副部長	生徒主事補兼助教	伊藤象三郎
柔道部長	河合萬龜雄	排球部長	教授	服部學順
弓道部長	金子武雄	集會所主幹	生徒主事兼教授	南藤八郎
野球部長	常盤井賢十	同副主幹	教授兼生徒主事	近藤康信
同顧問	若林秀三	事務員	書記	福島增雄
庭球部長	野崎勝太郎	同	同	森島市衛
蹴球部長	佐々木隆美	同	同	近藤信一
陸上競技部長	教授兼生徒主事 中西榮作	同	同	

選手規定

- 一各部ニ選手若干名ヲ置クコトヲ得
- 一選手ハ單ニ技術ニ長スルノミナラス善良ナル品性ヲ有シ且ツ學業ニ勉勵スル者タルヲ要ス
- 一選手ハ學年度毎ニ部長ノ推薦ニヨリ會長之ヲ認定ス

應援團ニ關スル規定

- 一校友會ニ應援團委員若干名ヲ置ク
- 一應援團委員ハ學年毎ニ協議會ノ推薦ニ基キ會長之ヲ委囑ス
- 一對校試合等ノ場合ニハ其ノ都度委員中ヨリ應援團長一名ヲ互選シ會長ノ承認ヲ受ク

三 寮紀及學寮規約

寮紀

吾人寮生ハ校風發揚ノ中心タランコトヲ期シ言行苟クモセス至誠以テ天地ニ愧チサルヘシ

吾人ハ「恥ヲ知レ」ノ一語ヲ掲ケテ標榜トシ卑屈懦弱ヲ斥ケ放肆暴慢ヲ戒メ廉恥ヲ重シシ操守ヲ固クシ品性ノ向上ヲ企圖ス
吾人ハ此ノ精神ヲ以テ自彊息マス共同一致シテ寮紀ノ振作ヲ努ムヘシ

第八高等學校學寮規約

第一章

第一條 吾人寮生ハ寮規寮則ヲ守リ自治ノ精神ニ基キテ善良ナル校風ヲ發揚セン
コトヲ期ス

第二條 吾人寮生ハ實踐躬行以テ秩序整頓ノ保持ニカム

第二章 學寮委員及各部

第一節 學寮委員

第三條 學寮委員ハ生徒主事ノ指示ニ從ヒ學寮總括的ノ事務ヲ處理シ各部委員ト共ニ寮紀規約ノ實行ヲ督勵ス

第四條 學寮委員ハ寮生ヲ代表ス

第五條 學寮委員ノ事務ハ連帶責任トス

第六條 學寮委員ハ點檢ヲ行フ

第七條 學寮委員ハ本規約第五章施行ノ任ニ當ル

第八條 學寮委員ハ必要ニ應シ隨時室總代會ノ開會ヲ議長ニ申告ス

第九條 學寮委員ハ委員會ニ於テ其一名コレカ議長トナリ議事ヲ綜フルモノトス

第十條 學寮委員ハ夫々炊事、文藝、運動、會計各部ノ幹事ヲ兼ネ幹事ハ該部ヲ代表ス、但シ各部幹事ノ任期ハ一學年トス

第十一條 學寮委員ハ每學年末ニ於テ次學年度ノ寮生必携ノ草案ヲ作製ス

第十二條 學寮委員ハ各寮（中寮ハ北寮ニ屬ス）二名トス

第二節 各部

第十三條 學寮ニ左ノ四部ヲ設ケ各部ニ關シ以下ノ規約ヲ定ム

- 一、炊事部
- 二、文藝部
- 三、運動部
- 四、會計部
- 一、炊事部

第十四條 炊事ハ學寮ノ自營トス

第十五條 炊事部ハ食事、浴場、洗面所及精米器ニ關スル一切ノ事務ニ當ル

第十六條 炊事部ニ幹事ノ他五名ノ委員ヲ置ク

第十七條 寮生ハ總テ本部ノ食事ヲトルヘキモノトス

二 文藝部

第十八條 文藝部ハ左ノ事務ヲ掌ル

一、雜誌發行及各種印刷ニ關スル一切ノ事務

二、圖書室ニ關スル一切ノ事務

三、寮歌ニ關スル一切ノ事務

四、學寮演說會並ニ講演會ニ關スル一切ノ事務

第十九條 文藝部ニ幹事ノ他委員三名ヲ置ク

第二十條 本部委員ハ別ニ臨時雜誌編纂係及寮歌選定係若干名ヲ依囑スルコトヲ得

第二十一條 雜誌ノ原稿ハ豫メ生徒主事ノ檢閲ヲ經ルモノトス

三 運動部

第二十二條 運動部ハ各種ノ運動競技、旅行、兎狩リ及學寮内ノ衛生娛樂ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十三條 運動部ニ幹事ノ他委員二名ヲ置ク

四 會計部

第二十四條 會計部ハ各部ニ關スル金錢ノ出納及保管ニ關スル事務ヲ掌ル

但シ炊事部會計ハ獨立會計トシテ炊事部之ヲ掌ル

第二十五條 會計部ニ幹事ノ他委員一名ヲ置ク

第三節 選舉

第二十六條 學寮委員ハ每學年ノ始メ寮生ノ互選ニヨリ選定セル候補者ニツキ校長之ヲ命シ任期ヲ一學年トス

第二十七條 炊事部委員ハ四月、六月、十月、一月ノ各中旬ノ四期ニ分チテ二名

又ハ三名宛改選シ任期ヲ二期間トス

第二十八條 文藝、運動、會計ノ各委員ノ任期ハ一學期間トス

第二十九條 各委員ノ選舉ハ寮生ノ連記々名投票ニヨル、選舉ノ結果同點者アルトキハ學年順ニヨリ學年同シキトキハ生年月日ノ順ニヨリ當選者ヲ決定ス

第三十條 在寮一學期間ニ及フモノハ選舉權被選舉權ヲ有ス

第三十一條 各部委員ノ選舉ハ立候補制トシ立候補セントスル者ハ選舉ノ二日前迄ニ學寮委員ニ届ケ出テ學寮委員ハ之ヲ揭示ス

第三十二條 選舉運動ハ之ヲ許サス

第三十三條 委員ニ缺員ノ生シタル場合ハ十日以内ニ補缺選舉ヲ行フ

但シ委員ノ任期ハ前任委員ノ任期ニ依ル

第三十四條 學寮委員ハ委員選定ノ結果ヲ校長ニ報告ス

第三十五條 各部委員ハ二ツ以上ノ各部委員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第三十六條 各部委員ハ重任スルコトヲ得

附 則

第三十七條 各部ノ詳細ナル事務ニ關シテハ學寮規約施行細則ニ於テ之ヲ定ム

第三十八條 各部ノ主掌事務ニシテ他ノ部ニ關聯スルモノハ其ノ部ト合議スルモノトス

第三十九條 主管不明ナル事務ニ關シテハ學寮委員之ヲ處理ス

第三章 委員 會

第四十條 委員會ハ學寮委員及ヒ各委員ヲ以テ組織ス

但シ委員總數ノ三分ノ二以上出席スルニ非サレハ成立セス

第四十一條 委員會ノ議長ハ學寮委員ノ一人之ニ當ル

第四十二條 委員會ノ議決ハ出席委員ノ過半數ヲ以テス

但シ贊否同數ノ場合ニハ議長之ヲ決ス

第四十三條 委員會ハ毎月二回之ヲ開ク

但シ學寮委員不必要ト認メタル場合ニハ之ヲ省クコトヲ得

第四十四條 學寮委員必要ト認メタル場合ニハ臨時委員會ヲ召集スルコトヲ得

第四十五條 委員會召集ノ場合ニハ二日前學寮委員之ヲ發表ス

但シ臨時ノ場合ハ此ノ限リニ非ス

第四十六條 委員會ノ目的ハ左ノ如シ

一、學寮ノ執務方針ヲ合議決定スルコト

二、總代會議ニカケル可キ學寮規約ノ制定改正及學寮會計ニ關スル事項其ノ他學寮ニ關スル重要事務ヲ協議審査スルコト

三、委員會附託ニナリシ事務ヲ議決スルコト

第四章 室總代會議

第一節 組織

第四十七條 室總代會ハ學寮委員及各室總代ヲ以テ組織ス

第四十八條 室總代會ニ議長、副議長ヲ置ク

第二節 權限

第四十九條 室總代會ハ學寮規約ノ制定改正及ヒ學寮會計ニ關スル事項、其ノ他學寮ニ關スル重要事項ヲ協議且議決ス

第五十條 室總代會ハ委員及議長、副議長ノ事務不當ナリト認ムルトキハソノ決議ヲ以テソノ事務ニ關シ委員及議長、副議長ニ反省ヲ求ムル事ヲ得

第五十一條 室總代會ハソノ決議ヲ以テ委員及議長、副議長ノ進退ニ關シテ反省ヲ求ムル事ヲ得

第五十二條 室總代會ニ於テ決議シタル事項ハ出席總代ノ滿場一致ノ賛成アルニ非サレハソノ學期間再議スル事ヲ得ス

第五十三條 室總代會議ノ決議ハ生徒主事ノ指示ヲ俟チテ之ヲ施行スルモノトス但シ學寮規約ニ關スル決議ハ校長ノ認可ヲ經テ施行ス

第五十四條 學寮委員ハ室總代會議ニ於テソノ執務方針及各室ニ關スル報告ヲナス、室總代ハ之ニ關シ質問ヲナシ意見ヲ述フル事ヲ得

第三節 室總代

第五十五條 室總代ハソノ室員ヲ代表ス

第五十六條 室總代ハ各室ノ風紀及整頓ニ關スル責ニ任ス

第五十七條 室總代ハ各室一名トシ各室室員ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

第五十八條 室總代ノ任期ハ一學期トシ再選セララルコトヲ得

第五十九條 學寮委員ハ室總代タルヲ得ス

第六十條 室總代ハ室總代會議ニ出席シ議案ヲ審議シ表決ニ與ル

第六十一條 室總代ハ室總代會議ニ缺席スルコトヲ得ス

但シ止ムヲ得サル事故ニ依リ出席スル事能ハサル時ハ該室員ヲ以テ代理出席セシム

コノ場合ハ速ニ議長ニソノ旨通知ス可シ

第四節 議長及副議長

第六十二條 議長及副議長ハ室總代會ニ於テ室總代ノ選舉ニヨリ寮生中ヨリ之ヲ

選フ

第六十三條 議長及副議長ノ任期ハ一學期間トシ再選セラルルコトヲ得

第六十四條 議長及副議長ノ選舉ハ該學期ノ當初ノ室總代會議ニ於テ之ヲ行フ

第六十五條 議長及副議長ノ選舉ハ單記記名投票ニ依ル

選舉ノ結果同點者アル時ハ學年順ニ依リ學年同シキトキハ生年月日ノ順ニ依リ當選者ヲ決定ス

第六十六條 寮生ニシテ選舉前引續キ一學期間在寮セシ者ハ議長及副議長ノ被選舉權ヲ有ス

第六十七條 議長及副議長ハ學寮委員各部委員及室總代ヲ兼ヌルヲ得ス

第六十八條 室總代ニシテ議長及副議長ニ選舉セラレシモノハ室總代ノ任ヲ辭シ

該室員ハ別ニ室總代ノ選舉ヲ行フ可シ

第六十九條 議長或ハ副議長カ闕位トナリタルトキハ十日以内ニ補缺選舉ヲ行フ但シ後任者ノ任期ハ前任者ノ任期ニヨル

第七十條 議長ハ室總代會議ノ秩序維持議事整理ノ責ニ任ス

第七十一條 議長故障アル時ハ副議長之ヲ代理ス

議長、副議長共ニ故障アルトキハ議長ノ指名ニヨリ假議長ヲ定メ議長ノ事務ヲ代理セシム

第五節 會議

第七十二條 室總代會議ハ學寮委員ノ申告ニヨリ室總代會議長之ヲ開會ス

但シ室總代五名以上又ハ寮生三十名以上ノ要求アル時ハ室總代會議長ハ本條ニ依ラスシテ之ヲ開會シ得

第七十三條 室總代會議ヲ分チテ定例室總代會議、臨時室總代會議及緊急室總代會議トス

定例室總代會議ハ毎月一回定例ニ開クモノトス

臨時室總代會議ハ右ノ外更ニ臨時開會ノ必要アル時ニ限り之ヲ開ク

緊急室總代會議ハ緊急ヲ要スル重要問題ニ關シテ之ヲ開ク

第七十四條 開會ノ期日ハ會議ノ一週間前迄ニ發表ス但シ緊急室總代會議ノ際ハコノ限ニアラス

第七十五條 室總代會議ハ全總代ノ五分ノ四以上ノ出席アルニ非サレハ成立セス

第七十六條 室總代會議ノ議決ハ出席總代ノ過半數ヲ以テ決ス

可否同數ノ場合ハ議長ノ決ニヨル
但シ學寮規約其他特ニ重要ナル事項ニ關シテハ出席總代ノ三分ノ二以上ノ贊成
ヲ要ス

第七十七條 室總代會議ニハ學寮委員ハ必ス出席スヘシ

第七十八條 學寮委員ハ表決ニ加ハルヲ得ス

第七十九條 一般寮生ハ室總代會議ヲ傍聽シ質疑ヲナシ又希望意見ヲ述フル事ヲ
得

第八十條 寮生中提案代表者ハ議長ノ許可ヲ得テ該議案ニ就テ發言スル事ヲ得

第八十一條 會議ノ際議長自ラ討議ニ與ラントスル時ハ議長席ヲ副議長ニ讓リテ
後發言スヘシ

第六節 發 議

第八十二條 二名以上ノ室總代、又八十名以上ノ寮生ハ議案ヲ室總代會議ニ提出
スル事ヲ得

但シ室總代ニ非サルトキハ表決ニ加ハルヲ得ス

第八十三條 學寮委員ハ室總代會議ニ議案ヲ提出スル事ヲ得

第八十四條 室總代及寮生ノ提出議案ハ期日前二日ニ揭示ス

第八十五條 スヘテ議案ハ會議前二日ニ揭示公表ス

第八十六條 議長ハ會議ノ前日ニ議事次第ヲ發表シ寮生ニ告知ス

第八十七條 議長及學寮委員ハ會議ニ先チ議案ニ關シ提出者ノ説明ヲ求ムル事ヲ
得

第八十八條 議案ノ提出者ハソノ議案カ議場ニ上セラレシ後モ之ヲ修正又ハ撤回
スル事ヲ得

附 則

第八十九條 本章ニ規定セサル事項ハ議長之ヲ決ス

但シ議長及副議長ノ選舉ニ關シ本章以外ノ事故生シタル時ハ學寮委員之ヲ處理
ス

第五章 制 裁

第九十條 寮生ニシテ學寮規約ヲ犯シ風紀ヲ紊亂シ其他寮生ノ本分ニ背ク者ハ學
寮委員之ニ忠告ヲ加ヘ猶改メサル時ハ室總代會議ノ決議ニヨリ自決ヲ促スコト
アルヘシ

第六章 有功章及學寮メタル

第九十一條 學寮有功章及學寮メタルハ學寮ニ功勞アル者ニ授與シテ其ノ功勞ヲ表彰ス

第九十二條 學寮有功章ヲ授與セラルヘキ資格アリト認ムルモノ左ノ如シ但シ同一人ニハ二回以上授與スルコトナシ

一、學寮委員

二、各部委員、議長、副議長

三、前二項ノ外室總代會議ニヨリ資格アリト認定シタル者

第九十三條 學寮有功章ヲ授與セラレタルモノハ學寮外ニアリテモ學寮ノ名ニ於テ行ハルル行事ニ常ニ参加スルコトヲ得

第九十四條 學寮有功章授與式ハ毎年一回最後ノ寮會當日之ヲ行フ

第九十五條 學寮メタルヲ授與セラルヘキ資格アリト認ムルモノ左ノ如シ

一、學寮委員

二、寮歌當選者

三、在寮中二回以上各部委員、議長、副議長ニ就任シタルモノ

四、三年間在寮者

五、前二項ノ外授與セラルヘキ資格アリト認定シタルモノ

四 第八高等學校同窓會

第一條 本會ハ會員相互ノ和親ヲ謀リ併セテ母校トノ關係ヲ密接ナラシムルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ第八高等學校同窓會ト稱ス

第三條 本會ハ本部ヲ第八高等學校内ニ置キ適當ノ地ニ支部ヲ設置スルコトアルヘシ

第四條 本會々員ヲ分チテ左ノ二種トス

普通會員

一、本校卒業生

特別會員

一、本校々長教官及ヒ嘗テ校長教官タリシモノ

一、其ノ他本校ニ緣故アルモノニテ理事會ノ推薦ニ依ルモノ

第五條 本會ハ其ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事項ヲ行フ

- 一、會員ノ消息及ヒ本校ニ關スル事項ヲ報スル爲メ毎年二回會報ヲ頒ツ
- 一、毎年一回總會ヲ母校所在地ニ於テ開ク但シ總會費ハ其ノ都度之ヲ定メ出席ノ會員ヨリ之ヲ徵收ス

一、其ノ他本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業ヲ爲ス

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一、會長 一名
- 一、理事 若干名
- 一、書記 若干名

第七條 會長ハ本會ノ事務ヲ總裁シ理事ハ本會ノ重要事務ヲ處理シ書記ハ會長理事ノ命ヲ受ケテ庶務會計ノ事務ヲ行フ

第八條 會長ハ第八高等學校長ヲ推ス

第九條 理事ハ會員ノ互選トシ任期ハ二ケ年トス書記ハ本校職員中ヨリ會長之ヲ囑託ス、但シ理事一名ハ特別會員中ヨリ會長之ヲ選任スルコトヲ得

第十條 本會理事任期中ニ缺員ヲ生スルトキハ理事會ノ決議ヲ以テ之ヲ補選スヘ

シ

第十一條 普通會員ハ入會金及會費ヲ左ノ如ク納ムヘシ

入會金 金四圓 母校在學中第一學年及第二學年ノ始ニ於テ金貳圓宛分納スルモノトス但シ中途ニテ母校ノ籍ヲ離ルルモノニハ之ヲ返戻ス

會費 年額金壹圓 母校卒業後第五年目ヨリ之ヲ納付スルモノトス 終身會費 一時金貳拾圓ヲ納メタルモノハ其ノ後ノ會費ヲ要セス

但シ特別會員ハ會費ヲ要セス

第十二條 會員ハ毎年九月末日迄ニ原籍現住所及ヒ職業ヲ報告スヘシ

第十三條 理事會ハ會員ニシテ本會ノ體面ヲ汚辱スト認メタル時ハ之ヲ除名スルコトヲ得

第十四條 本會々則ノ變更ハ理事會ノ決議ヲ經テ總會ニ諮ルヘキモノトス

五 第八高等學校獎學會規定

第一條 本會ハ第八高等學校震災記念獎學會及大禮記念獎學會ヲ合併シ第八高等學校獎學會ト稱ス

第二條 本會ハ本校生徒又ハ本校卒業生ニシテ帝國大學及官立大學ニ入學シタル

學生ノ學資補給ヲ以テ目的トス

第三條 本會ノ事務所ヲ第八高等學校内ニ置ク

第四條 本會ノ資金ハ第八高等學校職員生徒及ヒ有志者寄附金ヲ以テス

第五條 本會ヨリ學資補給ヲ受ケタルモノニ對シテハ償還ノ義務ヲ負ハシムルコトナシト雖モ本人成業ノ後償還ヲ申出テタル場合ハ寄附金トシテ之ヲ受理シ資金ニ加フルコトヲ得

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長 一名 校長ヲ推戴ス、本會ヲ總理代表ス

二、理事 二名 教官中ニツキ會長之ヲ委囑ス、會長ノ命ヲ受ケ會務ヲ掌理ス

三、評議員 若干名 本校職員中ニツキ會長之ヲ委囑ス、本會ニ關スル重要ナル事項ニツキ會長ノ諮詢ニ應ス

四、事務員 一名 會長之ヲ委囑ス、會長ノ命ヲ受ケ庶務會計ヲ掌ル

第七條 本會ノ資金ハ銀行預金又ハ郵便貯金トシ其ノ出納ハ別ニ帳簿ヲ備ヘテ之ヲ明ニス

第八條 本會ヨリ學資ノ補給ヲ受ケントスルモノハ會長テ宛ニ願書ヲ差出スヘシ

昭和十四年九月十五日印刷
昭和十四年九月二十日發行

第八高等學校

名古屋市中川區西古渡町柳田六〇

印刷者 箕浦嘉一

名古屋市中川區西古渡町柳田六〇

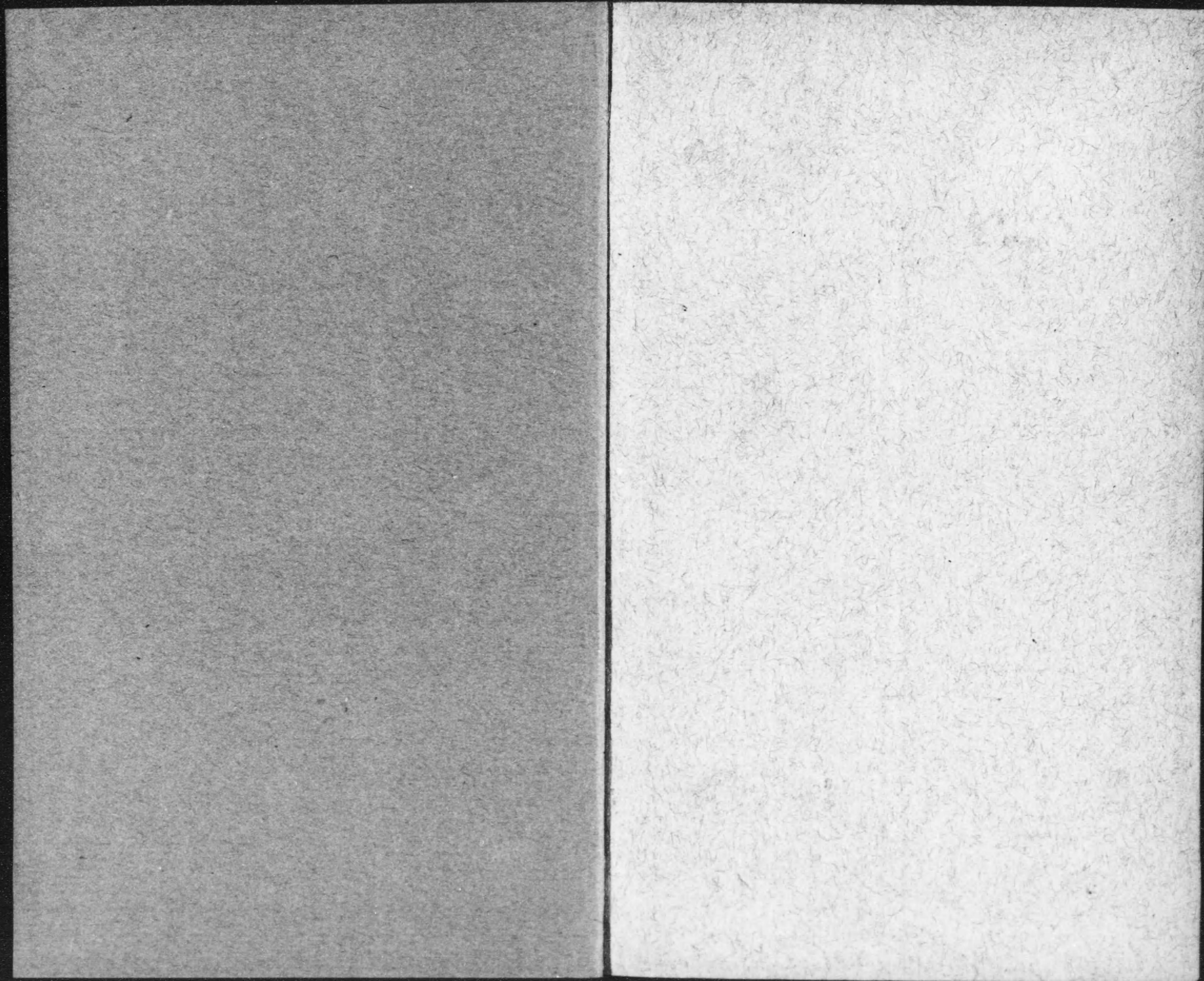
印刷所 秀文社

電話南〇二〇六〇番

一、圖書增加並購入、寄贈ノ冊數及價格左ノ如シ（）印ハ合本製本ノタメ減シタルモノナリ

種別	和漢書		洋書	
	冊在 前年 末 庫 數	本年 增加 冊數	冊在 前年 末 庫 數	本年 增加 冊數
哲學	二、〇八六冊 六九卷 三九枚	四六冊 五八冊	六六冊 一九冊 二〇冊	二、九七一冊 二、九七一冊
法律經濟	二、二一七冊 二〇卷	四〇冊 九〇冊	四〇冊 九冊	二、二一七冊 二、二一七冊
歷史地理	三、五九四冊 一六四枚	七〇冊 四一冊	八〇八冊 二卷	四、〇〇〇冊 四、〇〇〇冊
語學文學	一、四四五冊 七卷	一一冊 五五冊	四七冊 一〇九冊	九、二八二冊 九、二八二冊
自然科學	一、八六二冊 一一卷 五七枚	八二冊 六七冊	二、四〇八冊 三九卷	二、三、九七七冊 二、三、九七七冊
工藝產業	一、〇三二冊 一〇卷 五二枚	二六冊 一九冊	一〇枚 一五冊	二、八五六冊 二、八五六冊
辭書	六〇一冊	二冊 九冊	五五八冊 一〇冊 六冊	四、五八〇冊 四、五八〇冊
雜書	三〇九冊		四七冊	四、五四一冊 四、五四一冊
地圖掛圖	一、九一六冊 一三卷 一六三枚	九冊	八五卷 一〇枚	三〇〇・〇一〇 三〇〇・〇一〇
雜誌	四、六七五冊	二〇冊	一、九八七冊	二、九五六冊 二、九五六冊
下鄉文庫	一、一三九冊		五三三冊	二、五三三冊 二、五三三冊
今井文庫	三、七五〇冊 一三〇卷 九三枚	四八五冊 三五九冊	一、九二二冊 五三三冊	二、九二二冊 二、九二二冊
計	三、七五〇冊 一三〇卷 九三枚	四八五冊 三五九冊	一、九二二冊 五三三冊	二、九二二冊 二、九二二冊
總計	本年增加冊數 本年增加價格	本年增加冊數 本年增加價格	在庫冊數總計 價格總計	本年增加冊數 本年增加價格
	一、二三八冊 五、六〇一・九四三	一、二三八冊 五、六〇一・九四三	一、二三八冊 五、六〇一・九四三	一、二三八冊 五、六〇一・九四三

283
17



283
17

